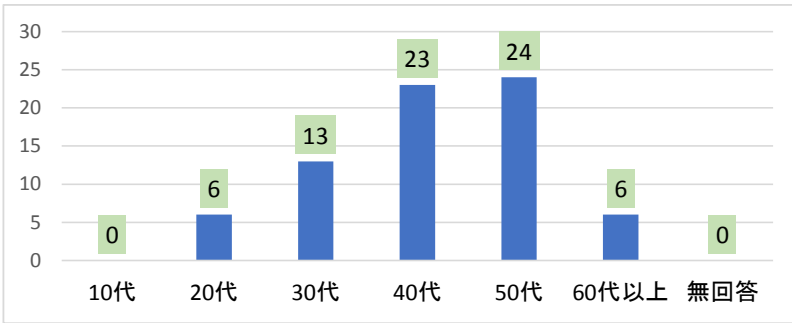


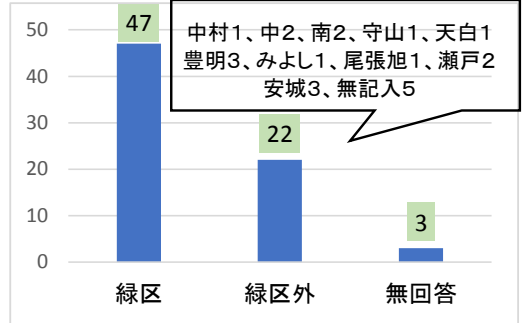
平成30年度 第2回緑区多職種連携研修会(H30.11.25) アンケート集計結果

参加者	80人
アンケート回答者	72人
回収率	90.0%

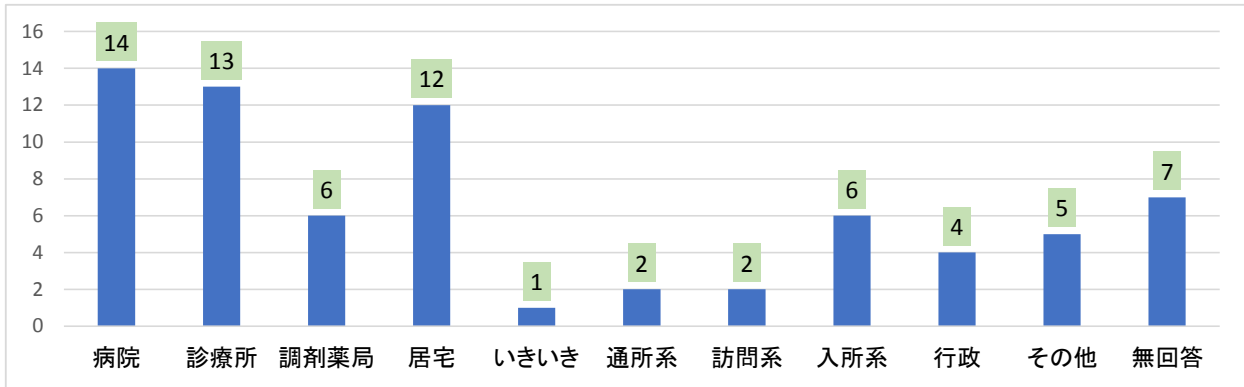
1. 年齢



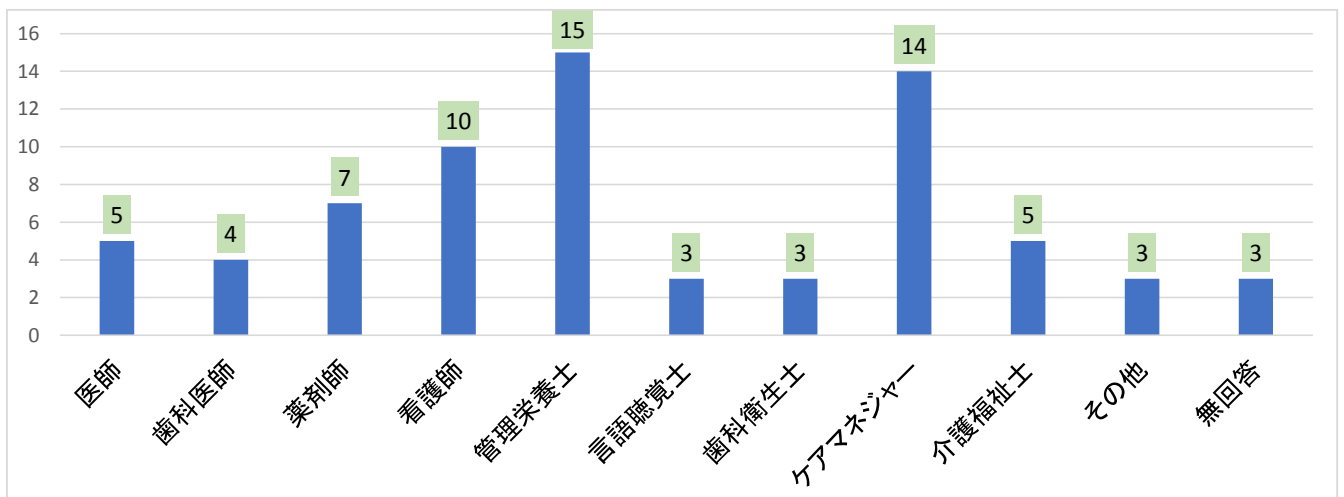
2. 職場所在地



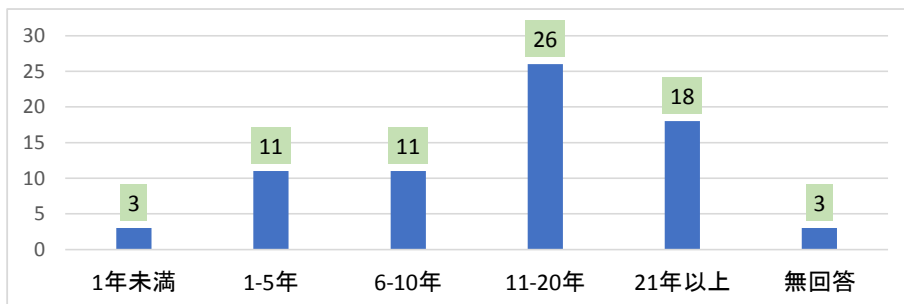
3. 職場



4. 職種

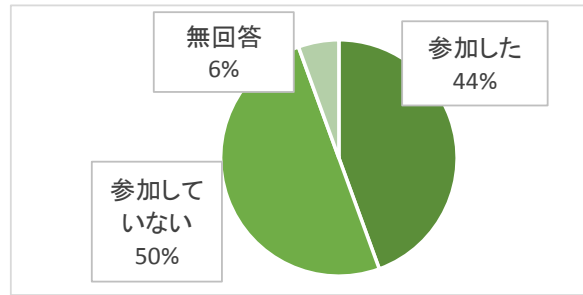


5. 経験年数



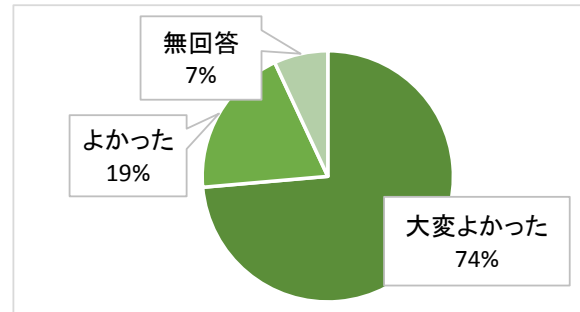
6. 連続研修会第1弾(7/22)に参加しましたか？

参加した	32
参加していない	36
無回答	4
計	72

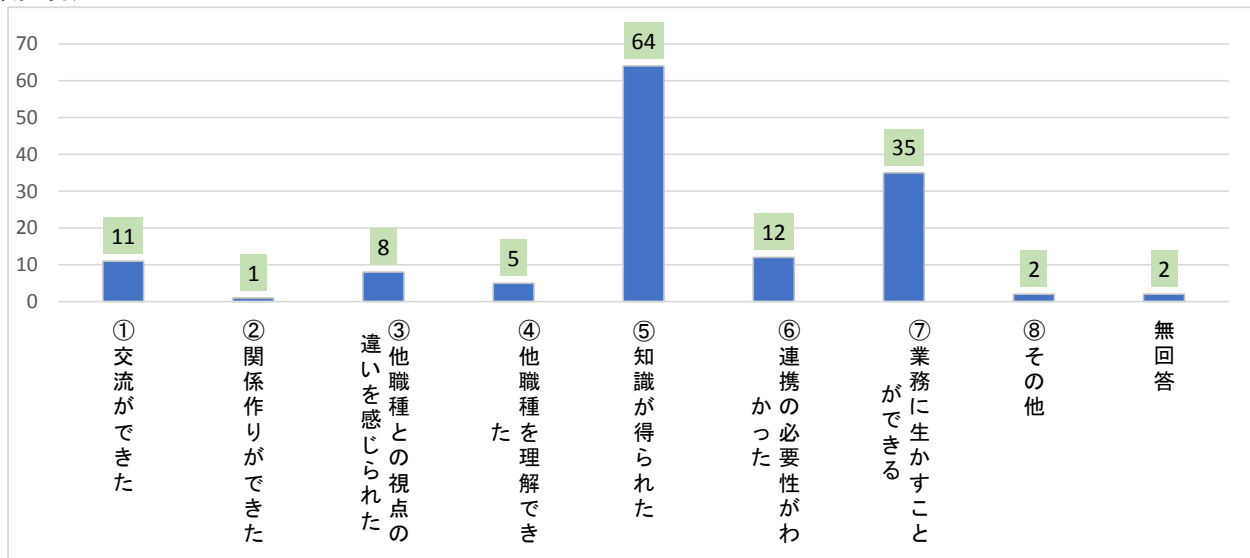


7. 本日の研修について (1)参加してよかったですか？

大変よかったです	53
よかったです	14
無回答	5
計	72



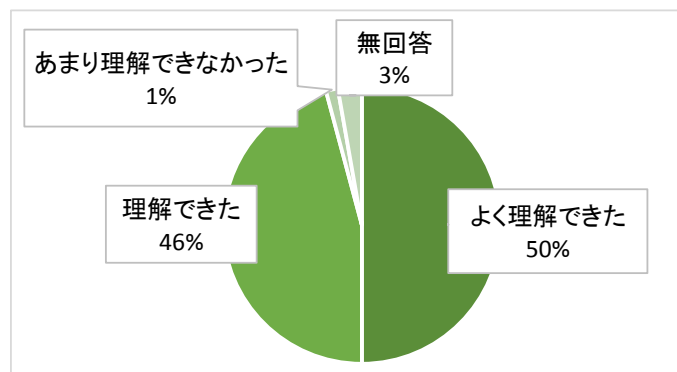
よかったですと思う理由はなんですか？ (複数回答)



※⑧その他: 食事介助を経験できたスキルの必要性。

(2)食事介助技術(演習)について 理解できましたか？

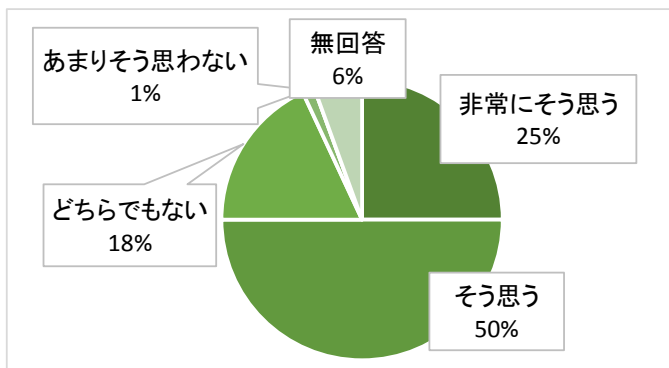
よく理解できた	36
理解できた	33
あまり理解できなかった	1 ※
理解できなかった	0
無回答	2
計	72



※あまり理解できなかった理由)もともとの知識が乏しい

(3)「KTバランスチャート」を日頃の業務で活用していきたいと思いませんか？

非常にそう思う	18
そう思う	36
どちらでもない	13
あまりそう思わない	1
そう思わない	0
無回答	4
計	72

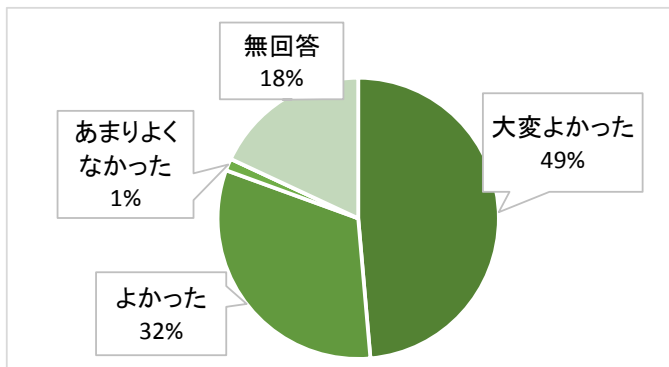


※どちらでもない:理由(抜粋)

- ・大変効果が期待できるが具体的に実践する時間やスタッフがイメージできない(診療所・医師)
- ・業務に使いたい、評価した後NSの協力が得られるか、自身の業務時間の増加や残業を減らせるか悩む(病院・管理栄養士)
- ・チーム全員がこのチャートを理解し共有するための知識を得る、使えるまでの時間をどうやっていくか課題がある(居宅・ケアマネ)

(4)連続性のある多職種連携研修会はいかがでしたか？

大変よかった	35
よかった	23
あまりよくなかった	1
よくなかった	0
無回答	13
計	72



(理由)

医師	より深く理解することができた。
歯科医師	一回目逃してしまったことが悔やまれる！！ 前回は参加しているので内容が詳しく理解できた。
薬剤師	他の職種の人の意見を聞くことができた。 普段の業務外の内容が勉強できたため大変ためになった。在宅を行ったときにアドバイスが出来る。
看護師	今まで知らなかった食事介助方法など何が大事なのか、知ることが出来大変よかった。 様々な職種が同じ知識を学び共有し利用者さんに生かしていけるため。 内容が濃いので一回では勿体ないと思います。 老健勤務中ですが、STや認定NSも施設にはみえず、本では自分の理解に自信が持てず、食介について悩んでいた。入所者様やご家族が「肺炎になってもいいから食べたい(食べさせたい)」と希望があっても「肺炎リスクがあるからダメ」という結論になり、悶々とするのが何度かあった。今日の講義を生かしていきたいと思う。
管理栄養士	口から食べるを広めたい。基礎的な考え方からKTチャートの利用の仕方など詳細に知ることが出来た。 2回参加させて頂きましたがKTバランスチャートについて理解を深めることができた。本来管理栄養士は食事介助できないけど難しさや大変さ、重要性がわかったことは収穫です。 同じテーマで理解を深めることができた。 日頃の業務に生かす知識が得られた。 無料でこれだけ濃厚な内容を聴けて有り難いです。また参加させてもらいます。
言語聴覚士	更に知識や技術が深まると思う。
歯科衛生士	食べることについての支援に対する自信になる。 食べるというテーマについて深めることができた。特に実習を行うことで実践に繋げることができた。 より理解が深まった。知識の定着となった。
ケアマネジャー	KTバランスシートの利用法が分かった。「食べる」ひとへのアプローチ法が良かった。 一回目参加できなくて残念でした。 同じ職種だけだと視点と同じになりがちなので多職種によって色々な視点・意見がいただける。介護・介助は色々な角度や職種の働きかけが必要だから。 時間をおいて関連の研修をすることで、改めて見直すことができる。 職種により知識、視点が違う。いろいろな考え方ができる。 段階的に学べて理解しやすかった。

●意見・要望など

意見	現場での連携がもっとできればと思う。 竹市先生のような経験豊富な先生の事例勉強が必要。 歯科、リハビリの方にも一緒にお話して頂けるとよい。空調を何とかして欲しかった。寒すぎた。
希望する研修テーマ	KTBCの院内活用。 介護技術／日常の中で起きやすい事故や注意して防げる感染症対策／看取りを決定した時のケア(薬剤師) 地域包括ケアについて。地域との関わり方(管理栄養士)